

文化・芸術に関するアンケート（やまと e モニター）まとめ

調査概要

条例骨子に市民の声を反映させるため、e モニターシステムを利用してアンケートを実施しました。

実施期間	平成 20 年 10 月 25 日（土）～11 月 2 日（日）
配信件数	824 件
回答件数（回答率）	440 件（53%）
質問	<p>Q 1 : あなたが、「文化・芸術」という言葉から連想するものを【3つ】選んでください。</p> <p>Q 2 : あなたは、文化・芸術の【鑑賞】や【講演聴講】などをどの程度していますか？</p> <p>Q 3 : あなたは、文化・芸術の【活動】を自ら行っていますか？</p> <p>Q 4 : 大和市の文化・芸術の取組みについてどのように感じていますか？</p> <p>Q 5 : 文化・芸術を振興するために市が取組むべきと思うことを【3つ】選んでください。</p> <p>Q 6 : 文化・芸術を振興するために力を入れるべきと思う対象を【3つ】選んでください。</p> <p>Q 7 : 文化・芸術を振興するための基本的な考え方として、適切と思うものを【2つ】選んでください。</p>

回答と解析

「文化・芸術」から連想するのは、「美術」、「音楽」、「演劇」が上位。「文化財」、「伝統文化」が続く。

「文化・芸術」という言葉から連想するもの（Q 1）は、美術、音楽、演劇などが上位を占め、鑑賞する立場での回答が多く見られ、文化財や伝統文化がこれに続きました。

多くの人が鑑賞する「文化・芸術」を連想する一方で、文化財保護や伝統文化継承の重要性を認識している人も多いことが分かります。

Q 1 : あなたが、「文化・芸術」という言葉から連想するものを【3つ】選んでください。			
美術・絵画・写真	299人(68%)	文学・小説	61人(14%)
音楽・コンサート	258人(59%)	茶道・華道・書道	56人(13%)
演劇・ミュージカル	143人(33%)	舞踏・ダンス	26人(6%)
歌舞伎・能楽	138人(31%)	映画・アニメ	27人(6%)
文化財・遺跡	118人(27%)	落語・漫才	16人(4%)
伝統行事・祭り	116人(26%)	俳句・短歌	11人(3%)

文化・芸術の鑑賞、活動が半年に1回以下の人が65%

文化芸術の鑑賞・聴講（Q 2）と活動（Q 3）をしている人は下表のとおりであり、活動のみならず鑑賞・聴講も7割が半年に1回以下と文化・芸術に触れる機会を持つ市民の割合はかなり低いことが分かりました。

	Q2：あなたは、文化・芸術の【鑑賞】や【講演聴講】などをどの程度していますか？	Q3：あなたは、文化・芸術の【活動】を自ら行っていますか？
ほとんどしていない	163人(37%)	329人(75%)
半年に1回程度	146人(33%)	34人(8%)
2～3ヶ月に1回程度	86人(20%)	19人(4%)
月に1回以上	40人(9%)	53人(12%)

また、上記をクロス集計した結果、「鑑賞も活動も半年に1回以下」の人が65%を占めました。

Q2 + Q3のクロス集計	
鑑賞も活動も半年に1回以下	287人(65%)
鑑賞は3か月に1回以上するが活動はしない	81人(18%)
活動は3か月に1回以上するが鑑賞はしない	27人(6%)
鑑賞も活動も3か月に1回以上	45人(11%)

以上から、策定中の第8次総合計画で指標としている「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」（現状値36.6%）を上げるためには、上記の「鑑賞も活動も半年に1回以下」の市民に対して、Q1で上位を占めた美術、音楽、演劇鑑賞の機会を増やすことが効果的といえます。

「市は文化・芸術にもっと力を入れるべき」と考えている人は75%

特に「文化芸術に触れる機会を増やして欲しい」が47%

市の取り組みに対する意見（Q4）では、「文化・芸術に触れあう機会を増やして欲しい」（47%）が圧倒的に多く、「イベントを開催して欲しい」（20%）、「活動をサポートしてほしい」（8%）を合わせると75%に上り、4人に3人が市は文化・芸術振興にもっと力を入れるべきと考えています。

一方で、4人に1人は、現状維持または縮小すべきと考えており、自由記述欄を見ると、その理由として、文化・芸術施策に優先してやるべきこと（福祉施策など）があると感じている人が多いことが分かります。

Q4：大和市の文化・芸術の取り組みについてどのように感じていますか？	
もっと市民が文化・芸術に触れる機会を作って欲しい	205人(47%)
もっと文化・芸術イベントを開催して欲しい	88人(20%)
現状のままでよい	82人(19%)
もっと市民の文化・芸術活動をサポートして欲しい	33人(8%)
取組みを縮小しても良い	22人(5%)

市が取り組むべきことは「情報発信・啓発活動」、「イベント開催」、「施設の充実」。

市が取り組むべきこと（Q5）は、「情報発信・啓発活動」（42%）、「イベント開催」（41%）と、多くの人が鑑賞や参加をするための情報や機会を提供すべきと考えています。

また、「施設の充実」（34%）は、自由記述欄でも多くの人がホール建設をはじめとする施設整備を訴えており、数もさることながらホールに対する思い入れが強いことが分かります。

Q5：文化・芸術を振興するために市が取り組むべきと思うことを【2つ】選んでください。	
情報発信や啓発活動	183人（42%）
イベントの開催	181人（41%）
施設の充実	151人（34%）
活動支援	108人（25%）
活動する団体や人の交流	71人（16%）
文化の継承と保護	72人（16%）
芸術家等人材の育成	53人（12%）
表彰・顕彰制度	11人（3%）

Q4で約5割を占めた「もっと文化・芸術に触れる機会を作って欲しい」という回答は表現がやや抽象的ですので、この回答者がQ5（市が取り組むべきこと）において何を選んでいるかを探りました。クロス集計の結果、「情報発信」、「イベント開催」、「施設の充実」が、それぞれ設問全体の傾向より若干高い数値を示しています。芸術・文化に触れる機会を増やすためには、この3施策の充実が必要といえます。

Q4 + Q5のクロス集計		Q5回答結果	
Q4：もっと市民が文化・芸術に触れる機会を作って欲しい+	Q5：情報発信や啓発活動	93人（45%）	183人（42%）
	Q5：イベントの開催	93人（45%）	181人（41%）
	Q5：施設の充実	81人（40%）	151人（34%）
	Q5：活動支援	40人（20%）	108人（25%）
	Q5：団体や人の交流	35人（17%）	71人（16%）
	Q5：文化の継承と保護	31人（15%）	72人（16%）
	Q5：芸術家等人材の育成	26人（13%）	53人（12%）
	Q5：表彰・顕彰制度	3人（1%）	11人（3%）

「文化芸術振興のために力を入れる対象」は、子ども、若年層が圧倒的。

文化芸術を振興するために力を入れるべき対象（年代）（Q6）は、「小・中学生」（67%）、「高・大学生」（41%）が、「高齢者」（23%）以下を引き離す結果となり、多く人が子ども、若年層を中心に施策を展開すべきと考えています。

自由記述でも、子どもの豊かな心を育て可能性を広げるため、小・中学生の文化・芸術に触れる機会を増やすべきとの意見が多くありました。

Q 6：文化・芸術を振興するために力を入れるべきと思う対象を【2つ】選んでください。	
小・中学生	296人(67%)
高校・大学生	181人(41%)
高齢者	101人(23%)
成人男性	79人(18%)
成人女性	78人(18%)
幼児	73人(17%)
その他	28人(6%)

また、Q 4で「もっと文化・芸術に触れる機会を作って欲しい」という回答をした人が「振興するために力を入れるべき対象」(Q 6)において、どの年齢層を選んだかをクロス集計しました。

結果は、Q 6の回答傾向とほぼ同じであり、「小・中学生」(68%)、「高校・大学生」(41%)が他を大きく引き離しています。このことから、子ども・若年層に文化・芸術に触れる機会を作るべきと考えている人が多いことが分かります。

Q 4 + Q 6のクロス集計			Q 6回答結果
Q 4：もっと市民が文化・芸術に触れる機会を作って欲しい+	Q 6：小・中学生	139人(68%)	296人(67%)
	Q 6：高校・大学生	83人(41%)	181人(41%)
	Q 6：高齢者	51人(25%)	101人(23%)
	Q 6：幼児	38人(19%)	73人(17%)
	Q 6：成人男性	34人(17%)	79人(18%)
	Q 6：成人女性	34人(17%)	78人(18%)

高齢者、成人女性(主婦層)が意外に伸びませんでした。これは「成人は自分のお金で好きな物に触れる機会が多いので」(自由記述)という意見に代表されるように、大人は個人の選択に任せるべきと考えているためと思われます。

振興のための基本的な考え方も「市民が文化芸術に触れる機会を創出する」が60%文化・芸術を振興するための基本的な考え方(Q 7)を聞いたところ、市の取り組み(Q 4)の回答でも5割を占めた「市民が文化・芸術に触れあえる機会を創出する」(60%)が、「地域に根ざした伝統ある文化・芸術を伝承する」(29%)以下を大きく引き離す結果となりました。

Q7：文化・芸術を振興するための基本的な考え方として、適切と思うものを【2つ】選んでください。	
より多くの市民が文化・芸術に触れあえる機会を創出する	265人(60%)
地域に根ざした伝統ある文化・芸術を伝承する	127人(29%)
文化・芸術によって市民の心を豊かに(健康に)する	117人(27%)
文化・芸術に対する市民の多様な価値観を尊重する	88人(20%)
文化・芸術を振興するために市民と市は協働する	86人(20%)
文化・芸術に対する市民の自主性、創造性を尊重する	85人(19%)
文化・芸術を振興するために市は市民を支援する	77人(18%)
その他	4人(1%)



やまとeモニター

「文化・芸術」に関するアンケート集計結果

実施概要

モニター登録者	824人
回答期間	10月25日(土)～11月2日(日)
回答件数	440件
回答率	53%

実施の趣旨

「文化・芸術」に対する市民の声を聞き、制定を予定している（仮称）大和市文化芸術振興条例に反映するためアンケートを実施。

アンケート結果

項目ごとの割合は小数点以下を切り上げ表示していますので合計が100%にならない場合があります。また、複数選択についても100%を超える場合があります。

設問内容	選択肢内容	回答率と回答件数		
Q1 あなたが、「文化・芸術」という言葉から連想するものを【3つ】選んでください。 (複数選択式)	(1) 音楽・コンサート	59%	258件	
	(2) 演劇・ミュージカル	33%	143件	
	(3) 舞踊・ダンス	6%	26件	
	(4) 歌舞伎・能楽	31%	138件	
	(5) 落語・漫才	4%	16件	
	(6) 文学・小説	14%	61件	
	(7) 俳句・短歌	3%	11件	
	(9) 映画・アニメ	6%	27件	
	(10) 美術・絵画・写真	68%	299件	
	(11) 茶道・華道・書道	13%	56件	
	(12) 文化財・遺跡	27%	118件	
	(13) 伝統行事・祭り	26%	116件	
	(0) その他	2%	8件	
Q2 あなたは、文化・芸術の【鑑賞】や【講演聴講】などをどの程度していますか？ (単一選択式)	(1) ほとんどしていない	37%	163件	
	(2) 半年に1回程度している	33%	146件	
	(3) 2～3ヶ月に1回程度している	20%	86件	
	(4) 月に1回以上している	9%	40件	
Q3 あなたは、文化・芸術の【活動】を自ら行っていますか？ (単一選択式)	(1) ほとんどしていない	75%	329件	
	(2) 半年に1回程度している	8%	34件	
	(3) 2～3ヶ月に1回程度している	4%	19件	
	(4) 月に1回以上している	12%	53件	

Q4	大和市の文化・芸術の取組みについてどのように感じていますか？ (単一選択式)	(1) もっと文化・芸術イベントを開催して欲しい	20%	88件	
		(2) もっと市民の文化・芸術活動をサポートして欲しい	8%	33件	
		(3) もっと市民が文化・芸術に触れる機会を作って欲しい	47%	205件	
		(4) 現状のままでよい	19%	82件	
		(5) 取組みを縮小しても良い	5%	22件	
Q5	文化・芸術を振興するために市が取組むべきと思うことを【2つ】選んでください。 (複数選択式)	(1) 情報発信や啓発活動	42%	183件	
		(2) 活動に対する支援	25%	108件	
		(3) 芸術家等人材の育成	12%	53件	
		(4) 活動する団体や人の交流	16%	71件	
		(5) イベントの開催	41%	181件	
		(6) 施設の充実	34%	151件	
		(7) 文化の継承と保護	16%	72件	
		(8) 表彰・顕彰制度	3%	11件	
		(0) その他	2%	8件	
Q6	文化・芸術を振興するために力を入れるべきと思う対象を【2つ】選んでください。 (複数選択式)	(1) 幼児	17%	73件	
		(2) 小・中学生	67%	296件	
		(3) 高校・大学生	41%	181件	
		(4) 成人男性	18%	79件	
		(5) 成人女性	18%	78件	
		(6) 高齢者	23%	101件	
		(0) その他	6%	28件	
Q7	文化・芸術を振興するための基本的な考え方として、適切と思うものを【2つ】選んでください。 (複数選択式)	(1) 文化・芸術に対する市民の自主性、創造性を尊重する	19%	85件	
		(2) 文化・芸術に対する市民の多様な価値観を尊重する	20%	88件	
		(3) 文化・芸術を振興するために市民と市は協働する	20%	86件	
		(4) 文化・芸術を振興するために市は市民を支援する	18%	77件	
		(5) より多くの市民が文化・芸術に触れあえる機会を創出する	60%	265件	
		(6) 文化・芸術によって市民の心を豊かに(健康に)する	27%	117件	
		(7) 地域に根ざした伝統ある文化・芸術を伝承する	29%	127件	
		(0) その他	1%	4件	
	自由記述欄	入力あり	27%	118件	

(自由記述欄及び【その他】意見欄については、次頁以降をご覧ください。)

文化・芸術に関するアンケート（やまとeモニター）回答（自由記述）

平成20年10月25日（土）から11月2日（日）の間に実施した市民アンケート（やまとeモニター）における「自由記述欄」にお寄せいただいた意見の内容です

施設整備（ホール）

【建設推進】

興業収入が得られるような、使い勝手の良い清涼感あるホールが必要。

毎年市文化祭に参加していますが、いつももう少し良い会場なら（ホール楽屋とも）と思います。元中文の建て替えをぜひお願いします。

生涯学習センターの老朽化。耐震工事はしたものの照明や音響の設備が良くない。もっと色々なイベントやコンサート、演劇が出来るような施設が必要。

座間市にハーモニーホール、相模原市にグリーンホールがある様に、大和市にも何か施設を作ってください。オークシティに何故その様な施設を作らなかったのか...今でも疑問に思っています。

とにかく早くハーモニーホール、グリーンホール並みのホールを作ってください！

早く収容力のあるホールを作って欲しい。

しっかりとした設備と収容力のある施設で、定期的に演奏会、演劇、講演会などの催しをしていただきたいです。市民で芸術に造詣が深い方を紹介したり、作品を発表できる場を設けて欲しいです。

大和市は箱物が少なすぎる。イベントを開催するにしても収容できるホールが貧相。

クラシックなどのコンサートが出来るようなホールを作って欲しい。

活動や鑑賞などで中心となる施設や団体が無いような気がする。

生涯学習センターの有効化 第2駐車場が無くなり利用しづらくなった また各自治会館や小中学校の体育館の防音化をして小ホールとしての構想をしたらどうか

現在の市民ホールを人口20万都市に相応しい多目的ホールに改修しては？ただ、華美な設備や音響装置などは不要と思う。

大和市の既存のホールでは音響もあまりよくなく楽器も不十分だと思います。また作品を鑑賞できるロビーなどの場所も少なく市民が文化・芸術に触れる機会が乏しいように思います。

本格的なホールを一つ建設するよりも、簡易な施設でも良いのでアマチュアが気軽に利用できる施設がいくつかあったほうがよい。

周辺の市に比べて、大和には文化会館の様な大型施設がなく、場の確保、芸術に触れる機会が少ない。

市民ホールの老朽化が気になります。そろそろ新しい市民ホールの建て替えを考えてもよろしいかと思えます。

もっとしっかりした器が必要。この近辺で言えば相模原グリーンホールぐらいのもの。専属の係りが大和は居るのでしょうか？私の近辺の人は東京まで出かけています。

市などが「文化・芸術」というと、いわゆる八コモノ、しかも多目的ホールになりがち。しかし、多目的は何にでも使えるようで、何においても中途半端。どうせ作るなら特徴的なものにすべき。これをするなら大和じゃないと、と思わせるようであれば。小さいけれど響きのすばらしいホール、市民音楽家の練習場が充実しているとか。この、市民音楽家のための練習場って結構重要で需要もあります。大和の交通の便を生かせるところだとも思います。市が文化を提供するのではなく、そこに集まる人たちが作っていくのがいいのではないのでしょうか。

昨年 12 月、保健福祉センターホールでの大和財団主催のピアノコンサートに出向いたが、ピアノの音質が悪く、音響もよくない。残念に思った。生涯学習センターホールも、子ども向けの劇や、市民プラスバンドのコンサートなどで行ったことがあるが、舞台が狭く見ている方が違和感をおぼえるほど（出演者はなおさらでしょうね）。このところは両ホールのイベントには興味がなくなり、もっぱら横浜や新宿などに出かけている。豪華なものは不要だが、最低限の設備を整えることが好ましいと考える。また、ピアノを習っているが、発表会をする場所が大和市内にはほとんどないとかで、やはり、横浜中心部のホールを借りたりしている。遠方に出かけづらい、子どもや高齢者向けのイベントができる中小ホールの建設を望む。

市としてきちっとした音響効果のあるホールを持ちたい。

施設の充実をしていただきたい。生涯学習センターのホールでは、全く話になりません。座間のハーモニーホール以上の規模・設備の施設をお願いします。図書館の拡充、博物館等の設置をご検討ください。

大和市として文化・芸術の育成を図るべきと考え、かねて文化施設としてのコンサートホール、美術館の創設を希望していた。しかし、大和市に 15 年余り在住し、市の財政力、人口数、東京・横浜に隣接するという特殊事情を考えると、文化・芸術への市民の積極的な参加、接触を助けるための芸術関係の公演施設の現状以上の向上・創設は期待出来ないと考えざるを得ない。市民の健康管理施設としての市民病院の健全かつ有効な運営の維持と発展が危ぶまれる現状を考えての、現在の心境である。

例えば美術館を例にすれば、他の美術館等と比較して個性と特性を備えたものが望まれるが、現状では実現は不可能である。市民の創作活動の展示施設の創設が望まれるが、生涯学習センター、コミュニティセンター等の拡張と充実に期待する。

また、市民によるベートーベン第九の演奏会が過去に開催されたが、スポーツセンターの屋内体育館での開催を思い出すと、音楽会用のホールの創設も希望されるが、これまた困難と考えざるを得ない。とは言え、文化施設の拡充は重要なことは論を待たない。

大和市にはいわゆる「ホール」施設が無い。生涯学習センターの様なホールではなく、本格的なクラシック、オペラ等も演目出来るホールと諸施設、会議室や練習室、リハーサル室など、大小二つのホールを本格的に作り、安価で使用できるようにし市主催公演と貸し出しの公演や発表会などに使い多方面にわたり芸術の基盤を作っていくべきだと考えます。

ともかく「ホールの建設が第一」。近隣自治体と比べ、なぜ大和市だけホールが無いのか。

ここが、大和市の文化の遅れが際立っている、第一では無いでしょうか。分かっているも公に発言できない。遠まわしのアンケートなどしないで、もっとずばり核心を突いたアンケートを。

今の時代に相応しい芸術文化ホールの建設を望みます。

【建設に慎重・反対】

新たな施設の建設は必要なく、建て替え等も最小限にとどめるべき。

ホールの建設に反対します。建設するのであれば、建設費以上のメリットが市民全体にある事を、具体的に証明して下さい。

近くに相模大野グリーンホールがある。自前で文化ホールを造るような財政状況ではないのですから、とにかく市立病院の赤字解消等に取り組み、再開発や文化ホールはやらないという判断が必要だと思われまます。近くのグリーンホールを利用すればよいことです。文化は自然に醸成される。芸術ホールを造ることが文化活動ではないと思う。

大和市立の文化芸術ホールなどの建設は不要です。大型ホールは近隣市に充分あります。現在ある文化会館などを家族ともども利用しています。大型箱物は、これ以上必要とは考えていません。

以前、大和市が更に「箱物」を作ろうとしていると聞きました。箱物でしか表現できない行政にうんざりしました。市民辞めたくなりました。お金の使い方を考えてください。市民が心豊かに過ごす事について、もっと違う角度から考えてみてはいかがでしょうか？

財政の苦しい中での「総合芸術ホール」設立は無理と思います。でも文化・芸術 支援としての方針は市に浸透していくべきだと思います。ヨーロッパにはいたるところに博物館や美術館がありますが大和には一切ありません。それとも広報不足ですか？日本でも入場無料の市民美術館を持っているところが数多くあります。ミニコンサートを開ける施設も相模大野にはあるが大和にはありません。なぜでしょうか？よく考えてください。

(アンケートは)文化・芸術の振興の為として箱物を作ろうとしているのが見え見えです。

施設整備(ホール以外)

充実した文化会館を、作って欲しいです！

美術館や図書館を充実してほしい

図書館を増やしてほしい。

泉の森に、駐車場と美術館が欲しい。場所は、大和斎場の向かいの、ゴミ置き場のあたりが適当。水源の上部にできたらいいなあ、と思う。

施設を充実してほしい。

「想像力」が豊かになると、相手の立場を想像できるので思いやれる、自分の将来を想像できるので夢が持てる。「想像力」を豊かにするには、「文化・芸術」にふれてイメージを膨らませる練習をすることだ、と聞いたことがあります。戦争や暴力や争いごとの対極に「文化・芸術」があると思うので、ぜひとも「文化・芸術の大和」を目指していただ

きたいと思います。

私は中学生～市民楽団まで、吹奏楽をしていました。旧浦和市に住んでいましたが、市民会館、県民会館、文化センターと3つの会館があったので、練習にも発表にも場所がなく困るというようなことはありませんでした。市民も関心が高いのか、どのような発表でもそこそこ人が集まり、タウン誌にもチケットのプレゼントや優待が沢山載っていました。昨年、久しぶりに楽器を吹く機会がありました。個人練習をしようと思い、大和市内で楽器の練習できる公共施設を探したところ、解放になっている中学校の音楽室の夜間・休日のみでした。子どもが小さいので時間的に無理でした。結局、泉区の上飯田地区センターの個室を借りられました。「大和市民なのですが」と問い合わせた所、「優先的ではないけれど、空いてればお貸し出来ますよ。横浜市民も引地台プールに通っていますから」と、とても柔軟な対応をしてくださりとっても嬉しかったです。

大和市にはスポーツ施設は充実していると思いますが、「文化・芸術」を愛する市民の練習の場、活動の場、発表の場も、ぜひお願いいたします。

イベント・行事・講座

横浜市の活動の真似は出来ないと思いますが連携したイベントはできないのでしょうか。

大和は外国人がたくさんいるのに国際交流行事が少ない。外国文化に触れる催しを増やしたほうがよい。

小さい子供が居ると鑑賞などなかなか難しいです。託児施設完備でコンサート、幼児も連れて行けるファミリーコンサートなどの開催があるといいなと思います。

前に市民大学講座がありました。「宮沢賢治」「万葉集」など、楽しい時間でした。また、そんな講座があればうれしいです。

市の中心だけでなく、大和市の他の地域でも色々やって欲しい

若者向けの定期イベントが少ないと思う。少年少女合唱団や、軽音楽祭などもっとあってもいいと思うし、発表の場も欲しい。

大和市に芸術と美術イメージは無いので、市民が気軽に参加出来るようなものがあるといいです。

イベントを増やして、参加者を増やすような働きかけを市がするべき！

小さくても良いので啓蒙のための様々なイベントを続けることが大切だと思います。

生涯学習センター等の既存施設で行われるコンサート・演劇等の、情報発信を強化してほしい。特に無料イベントがあれば積極的に足を運びたい。

以前に大和市の文化祭を見学しましたが、絵画など主催する方がもう少し宣伝をして欲しいと思いました。とても地味で、見えている方がほとんど出品者の知り合いの方が多いようで、ただ展示している感じがしました。マンネリ化している感じでした。もう少し市民の方が芸術鑑賞したいという気分になるような、チラシや、PRをして欲しいと思います。学習センターのホールでも正門の道路側に、大きな掲示板を作って欲しいと思います。何をしているのかよくわかりません。文化祭も出展者が満足しているだけのような気がし

ます。もっと若い人の参加に力を入れて欲しいです。ほとんどの出展者が大人の方のようですね。

現在各コミセンで開催されている秋の音楽会に、子どもと一緒に足を運んだが、本格的な演奏で、内容も良く、もっと多くの地域で頻繁に開催され、参加者も多くあるべきだと感じました。こんなに素敵な演奏会に無料で参加できて、本当に恵まれていたと感謝しています。子育て中で幼児連れのコンサートは難しいし、主婦だと無収入なので、気軽に参加できるものなのが良いのですが、でも、それなのにお客さんは、ほとんどが高齢者。いつも市のイベント参加時に思うことなのですが、みんな、もっと市報や掲示板を見て参加すればいいのに・・・と残念に思いました。(イベントを知らない人が多い。)特に子どもの時からの刺激は、一生ものだと思いますし、次回はお友達をたくさん誘って、行ってみようと思います。"

市民ホールで上映されている「昭和の時代の映画」が大変好きです。家内と一緒に観賞させていただいております。今後も素晴らしい作品を是非お願いします。

大和市で行われている「文化・芸術」活動で思い当たるものが「薪能」ぐらいしかありません。しかし、それに興味があっても毎年朝から長蛇の列でチケット入手困難。多くの市民がそれを見る機会は少ないと思います。大和市ならではの文化・芸術だけにとらわれず、良いものを広く取り入れてそれらを市民が直接触れる機会があればと思います。

大和市ではハンドメイドに関するイベントがあまりない気がしています。ハンドメイドと言うととてもジャンルは広いですが、年齢層は幅広く、子供のビーズ遊び、幼稚園に上がる子供にレッスンバッグをつくる主婦、孫への布おもちゃを作る老人と実はとても身近なことです。作り方の講習会や展示販売、普段から趣味で手芸をしている人のフリマ形式での作品販売など、市のイベントとして家の中で地味に針を動かしている人たちに、外へ出るきっかけ作りとして誰でも参加できるイベントを開催してもらいたいです。

市の取り組み・施策展開

市はもっと文化・芸術活動支援の予算を増やすべきである。

予算が少ないと思います。文化・芸術は目に見える効率性はありませんが、人間性を豊かにするために必須です。貧しくても心豊かな市民を育てましょう。所得格差が芸術格差にならないように、青少年対策に力を入れてください。

現在の大和市の文化芸術に対する取り組みがほとんど感じられずこんな意見を出しても無意味だとは思いますが。

やるなら妥協せずに取り組んで欲しい。

アピ-ルをもっとして欲しい。

良質なものを見て 見たものを自分のフィルターで濾してゆかないと よいものは残りません。一瞬の輝きもどきもよいでしょうが錯覚が殆んどです。時間をかけて良いものを次の世代が継承してゆけるよう取り組んでいただきたいです。

大和市の財政・人材をどこかに配分するのかをよく考えていただきたい。まずは、市民の生活基盤の確保。市立病院の運営をしっかりしてほしい。そのうえで、市内の文化の継

承と保護、次に市民の文化・芸術活動への支援の順である。

地元の文化・芸術を伸ばすことは大切だと思う。支援や保護も大事だが、イベントと組み合わせて、広めることや触れあえるようにしていくことで、新しい人材、資金が生まれるようにして、自活出来る環境を作ることも大切ではないかと思う。

文化、芸術は特別なものではなく、自然発生・発展的なものだと思います。市は個人の自由な活動を温かく見守るのが基本姿勢ではないでしょうか。

最近文化・芸術に触れることが少なくなりました。若い頃は神社・仏閣によく行ったし、歌舞伎・オペラなどよく見たものだった。このアンケートを機会に博物館や美術館に足を運ぼうと思う。この領域は、本来個々自分自身のマターであるべきである。従って、行政が手取り足取りする必要性は余り無い。ただ継承とか保護等は、必要に応じてウオッチする事はお願いしたい。

文化・芸術は癒しにも、心を豊かにもする大切なもの、無理やり作ろうとして出来るものではなく、時代時代で自分をとりまく環境を感じ、感性が形になったものだと思います。それだけに公の出来る事は難しいと思いますが、広く市民に作品の紹介し触れ合う機会があると良いのではないのでしょうか？

文化芸術が何かと、決めてかかる輩がなにを振興するのでしょうか。文化や芸術を多数決で決める『行政の文化』が、補助金や予算を消化するための「ための文化振興」策にならないことを願います。

きっと、前市長が行ってきたからと来年度からはいずみの森の薪能もなくなるのでしょうかし・・・。（決して前市長の支持者ではありませんが、地元の間でない現市長の「先代市長の政策はすべて悪」的な言動に、根っからの大和市民は不安を覚えます。2期で県政が国政に逃出すことしか考えないのなら、多選批判はただの当選するがための建前に過ぎなかったのでしょうか？ 現市長の選挙公約「ゴミ袋の値下げ」（笑）すら、実現できない人が、一体なにを大和市政に寄与するのでしょうか？これを現市長の手元に届かんことを、切に望みます。こんなアンケートをすること自体、文化に理解のないことで予算削減の前準備にしか思えません。

市民へのPR・・・参加したいという気持ちにさせることを継続して行う。

正直なところ、今、政治家に足りないのは、経営力だと思います。大和市の市長は、大和市の社長なわけです。今、現代の世の中で市として収益をあげられるビジネスはなんであるか？それが実は市民を幸せにさせる近道だと思います。たぶん、それに気づくのは税金の仕組みを無くしてみるのが手っ取り早いですが？生きていける市町村はどのくらいあるでしょう。国もたぶん無理でしょうね。

民間企業は確かに利益を求める企業ではありますが、実は社会貢献の循環に入るから、利益が出るのです。利益は社会貢献の結果です。なので、一番の社会貢献すべき、国や市町村が利益出ないのは、社会貢献出来ていないという事です。

それをふまえると今回のテーマは、深いと思います。時代の流れとして、高齢化や退職した男性が増え、仕事ばかりで生きてきた人に、いきなり暇を渡しても何も出来ずに酒や暴力に走り、酒乱とかいろいろで迷惑を与えているのは、意外と現実だと思います。

どうすれば楽しめるのか？を模索してる人たちをターゲットに、そーいうことを与えられるきっかけが身近に作れば、幸せを感じ、そこからボランティアの参加など、市の参加に協力的になっていくのではないのでしょうか？

ですが、イベントを主催しても役所のやる仕事の仕方は宣伝用のチラシをどこかに張るくらい。民間では、そんな宣伝の仕方では人を呼ぶ事が出来ないのは百も承知です。

大和市として文化・芸術的なことをやるのなら、コンサートでも美術展でも落語でも歌舞伎でも能でも全てやってもらいたいです。将棋や囲碁の集會も、健康をもとめて、ヨガや体操の会も、何でも文化・芸術だと思います。

ですが、やっても人がこなかったじゃないか？と、きつくなるでしょう。でも、そうではなく、どうやったら人が来るのかな？と視点を変えてとらえるだけで、変わっていきけるのではないのでしょうか？"

芸術、文化ということが憚れる位、話題が少なすぎる。それは、日常的に質の高い芸術、芸能、文化を発信する施設、団体が存在しない。周辺都市も含めて大和にしかないとか、特色のある施設も存在しない。ほかの市町村と同じ事をしていると、結局器をつくっても機能しない、そのつまりは閉鎖ないし中断してしまう。芸術文化の育成には本当に長い時間がかかること覚悟しての取り組みが求められると思います。

調査の目的は、今まで以上に予算を配布して活発にしようというのですか。予算に余裕があるのなら環境改善の観点から全市、下水道完備とか、住みやすい街づくりの観点から市道（歩道や雨水側溝）の整備を急いでください。

大和市には文化・芸術に触れる機会がないですね。近隣には魅力的な劇場や常設の会場があり、楽しんでます。従来のやり方でないユニークな振興策が必要だと考えます。

「文化・芸術」の振興も大切。でも優先順位は低くてよいのでは。医療や福祉，教育にももっともっともっと力を注いでいただきたい。

文化・芸術に関して大和市が積極的に何かをする必要はないと思うが、やるなら明確な目標を持って徹底的にお金をかけてやってほしい。また、やらないなら何もしないという態度を全うしてほしい。中途半端が最も悪い。音楽は簡単に組み合わせて、また参加しやすい素材です。音楽に全市的に参加できるような芸術参加の機会を作ることは市としての取り組み全体を盛り上げるひとつのきっかけになり得ます。その他の多様な文化芸術と音楽とを組み合わせることで多彩にすることも、マイノリティに伝えることもできるようになります。

他の駅や市から、大和駅に来る人が増えるような、駅周辺の開拓が必要だと思います。広い土地はあるのですから、大和公園にしても、もっとふんいきを良くし、多くの子供づれが訪れるような公園にしたり、イベントで音楽に触れる機会を作ったり、治安のよい、感じのよい町づくりに「文化・芸術」を利用してください。

果たして、人々が「文化」を正確に理解しているかどうか、スタートはそこからだと思う。伝統文化は本当に「伝統」があるのか、「文化」の名のもとに営利目的の活動が行われていないかを、市は厳しい目を持つ必要がある。市の職員の中には、全く文学や歴史の知識を持たない人も多く、そういった職員の方々の文化へ理解は当然得る事ができない。

まずは、市の職員のレベルを高める事、基本的な知識講座の開講など、「文化」を語る前に常識として、勉強していただきたい。

文化芸術は日常の生活ではね中々触れる機会が少ないと考えます。勿論個人がそれらの機会を見つけることが基本と考えます。しかし行政でそのような機会を身近に作って頂けると、それにより豊かな人間形成にも有効と考えます。期待します。

文化だの芸術だの言う前に、もっと基本的な生活の部分を考えていただきたい。家の周りだけでも、違法駐車やごみの不法投棄が日常茶飯事。スーパーに行ってもエコバッグを持参する人を滅多に見かけないほど環境に対する意識も低い。市役所の職員も役所にこもってこんな非日常的な活動に思いをはせてばかりいないで、街に出て、路地裏の隅々までよく見て回って欲しい。大和市民は、文化や芸術を振興できるようなレベルには到底達していないことがわかるはず。

子ども、教育

子供に文化をと、活動しています。しかし、そのために利用しているホールは老朽化しているし、演者には使い勝手が悪いし、常に使うコミセンも利用料が取られ、大和市の文化、芸術に対する細やかな配慮の無さにはがっかり。小学校単位でも、内容ある生の舞台や音楽、芸能を定期的に観せる場を増やせば子供たちの肥やしにきつとなると思います。よろしくお願いします。

機会があるようで、あまり身近に感じていません。しかし、豊かな心を育てる為には必要だと思います。小中学生の内に接する機会を与えて頂きたいと願います。

幼い頃から多様な物に接することが、新たな物を生み出す創造性や故きを省みる探究心に繋がるのではないのでしょうか。

文化芸術を振興するためには、若い年代の内にどれだけ沢山本物に触れ、感動し、自ら創造する喜びを見出だす機会が与えられるかにかかっていると思います。

小さい頃から、こういったことに触れる環境を...!

文化、芸術については、興味・関心のある人、ない人、ジャンルの違い、見る側か演じる側かなど、いろいろな立場の人がいると思うので、一概には判断できないと思いますが、小中学生が、そういったものに触れる機会が多いほうが良いと思います。未来のアーティストが大和市から生まれたらうれしいですね。

文化、芸術などホビーの分野は、人それぞれの価値観や好き嫌いが有り、公の機関が手助けをするには公平という観点でも難しいと思います。義務教育中に色々な文化芸術に接する機会を作り、その子たちそれぞれが関心を持てる様にしてあげたらと思います。高齢者は「昔取った杵づか」でもあれば社会参加が可能かと思います。

小中学校教育の中で文化・芸術に触れ合う機会を多く持ち、潜在的な 関心や才能を掘り起こせるような環境を作っていただきたい。

幼児と小学生の親であるが、周りを見渡して、十分な芸術鑑賞をさせている家庭が少ないように感じる。学校での芸術鑑賞も、古い体育館で、芸術の温かみをあまり感じられないように思う。私は市内での芸術鑑賞はあきらめ、一生懸命、情報を集めている。

スポーツは音楽・美術・文学と同じ文化・芸術の一部であることを認識する事が大事である。従って、音楽・美術・文学もスポーツと同じような意識で取り組み、同じような支援が必要である。勝敗がはっきりしているスポーツにのみ関心があることは、文化芸術の一部しか知らない事に過ぎない。そのため音楽・美術・文学・スポーツが総合的な文化・芸術である事を教えられる教育体制が必要である。

文化、藝術は 次世代を担う子供、幼児には将来の方向性、考え方を固めていく重要なもので、成人、高齢者にとっては生甲斐、自分の心を磨く、ひとつの手段 かも知れません。 将来、大和からも次世代を担う優秀な方が多く出ればと思います。

世田谷区、北九州市のようにパブリックシアター(ハード)があり、市民参加をしやすくする活動が行われる(ソフト)のが理想だと思います。

大和市独自の文化・芸術を育成して広く世間に告知、認知され、結果大和市の発展に寄与する活動が必要だと思います。残念ながら大和市の文化・芸術とは?と問われても思い当たるものはありません。東国原知事のやり方も宮崎県の文化・芸術を立ち上げて成功している一例だと思います。大和市もこれを参考に何か行動を起こせるといいのですが?とにかく、大和市の将来の姿・夢・希望が欲しい。(現状の厳しい財政を乗り切る市民の頑張り、活力になると思います)

小中学生に対して、一流の芸術・作品に触れる機会を数多く提供することが重要かと思えます。予算の問題もありますので、二流・三流の芸術作品を市で抱える必要はなく、一流の作品等を「紹介」するというだけでもよいのではないかと思います。世界の一流の文化・芸術に、小さいときから触れさせるとい点が重要かと。

大和市の文化財のイメージがないのでなんともいえませんが、成人は自分のお金で好きな物に触れる機会が多いので、小・中学生の義務教育の中に文化・芸術を取り入れる機会を増やしていったらいいのではないかと思います。

市民の文化芸術活動・支援

大和市で心が豊かになる、癒せる活動をして欲しいと思う。

横浜、渋谷他の大規模な商業エリアで行っている活動と競合ではなく、協調、補完するという発想で当市ならではの草の根的地域密着型活動を推進できると良いと思います。

会社を定年退職してから文化・芸術(主に楽器の演奏に親しみたい)ので、サークル活動の広報や支援をお願いします。

大和市はアーティストが多い割には、登録制度も無ければ、奨励制度も無い。イベントを始めたくとも、手段が解らない。

自治会や地区社協単位での文化・芸術活動の支援・啓発が必要。

大和で行われる文化芸術振興活動が、他の市町村と比べ圧倒的にサポートが少な過ぎ。もちろん資金的な物も有るが、大和の協賛や広告も非常に不足している所も否めない。場合によっては県内の市町村(大和市周辺五市、藤沢市、海老名市、座間市、綾瀬市、相模原市)と協同支援事業としてするのもひとつの手だと思う。

もう少し文化を大切にしてもらいたい。最近風俗店や飲み屋街かパチンコのイメージが

強く、それ以外では何も思いつく点がない。市民独特の劇団をもっと増やしたり音楽や絵画等を幅広い年齢層で活動出来る機会を作り、情報を提供して欲しい。

Q5 啓発活動は僭越であり、芸術家等人材の育成及び表彰・顕彰制度等、市の支援は必要ない。

大和市の「文化・芸術」についてといわれても、そういうもの自体が思い浮かびません。文化・芸術を振興するには、広報やまとなどにそれらの活動をしている団体を、少しでも特集として掲載してはどうでしょうか。

市在住で名高いコンクール（音楽だけでなく、文化芸術）などで入賞した人に対し、支援する。

文化や芸術活動は人それぞれであり広範で、かつ多様です。したがって市民が要望する程度にも幅があると判断します。社会資本の整備が急がれる市としては、あくまで市民の自主的な活動を支援する趣旨の機会（催事）と場所（施設）の提供とするのが妥当ではないでしょうか。"

文化芸術は、多様化しています。きめこまかい支援を市に期待しています。

神奈川大和阿波おどりのより一層の発展に向けて、市がもう少し資金的なバックアップをしても良いのではないかと？

本人の研鑽の結果これだと思うものに支援をする。

文化芸術全般

心を豊かにするには文化、芸術に触れる事だと思います。心が豊かになれば、痛ましい事件の減少に繋がると思います。

文化・芸術は、個人の価値観により一概にはこれがそうなんだ（文化・芸術）と云う物は無いと思います。各個人により、価値観が違うのでこうしなければならないと云う問題ではないと思います。

文化・芸術を振興するための土台は平和であることにつきる。

その他意見

大和市の歴史を次の世代に引き継いで下さい。他市から来た人も知る機会を作ってください。例えば、区画整理をするにあたり、下和田小学校がなくなり渋谷中学校となりました。なくなったことにより下和田小学校の卒業生は母校を失ったのです。たしか渋谷中学校に歴史館みたいなものがあつたと思いますが、定期的に広報に乗せたりして、知る機会を作ってください。便利(区画整理)の裏には悲しい思いをしてる人がいることを知ってください。

市自体が文化、芸術事業を行えば良い。協働を市民に求めても、大和市民はレベルが低いので、補助金目当てのパフォーマンスにしかならない。大和駅前で行われた夏祭りが良い例。一般人の為には成されていない。実行者の名誉欲も見えた。

そもそも、この大和市にはどう言ったオリジナルの文化・芸能が存在するのでしょうか？

大和市立のある中学校に精神保健福祉の勉強会への生徒の参加をお願いしに行ったが相

手にされなかった、せっかく大和社協から援助を貰い大学教授等の専門家を呼んで少人数での学習会なのに、中学教師の生徒のボランティア観が貧しすぎる。

海外旅行に行くと、世界遺産などには行ったりはしますが。なかなか国内で「文化・芸術」などの鑑賞には行く機会がありません。

アンケート

質問の範囲が広くて、もう少し絞った質問内容になれば。回答の適切と思うものを選ぶ数が、2つとかではなく、多くして欲しかった。

「あなたが、「文化・芸術」という言葉から連想するものを【3つ】選んでください。」という設問ですが、一つだけならもっとも重要視するものを一つ選んでくださいとなり納得です。しかし 複数選ぶなら「3つ」と規定する根拠が解りません。